

平成28年度 岡崎保育園 事業報告

平成28年度4月132名のスタートから、3月は146名、入所充足率117.8%でした。更に、今年度は一時預りの利用も増加しており延べ人数777人でした。それでも湖西市の入園希望数は減らない状況です。29年度より、湖西市が、入園待ちの一時保育の受入れを始めます。休日保育事業は、保護者からの利用料徴収がなくなり、兄弟の受入れや低年齢児の希望者が増えました。これらの事業による職員の日々のシフトで、振り替え日が多くなりました。地域の親子参加のびよびよクラブは、毎回10組前後の利用があり、時には、保育に入り、親子で一緒に過ごす時間を楽しんだり、育児相談に繋がっていったりしました。

今年度から、職員も主体性を大事に、自分達からの発信を中心に活動をしてきました。なかでも、園内研修は、研修委員を中心に、職員の組織役割を確認しあい、園外研修報告を共有し、「子ども理解及び関わりの質」「環境の質」「遊びが学びの質」「保護者支援の質」を学んできました。振り返りでは、学びの声が多く聞かれますが、今後、どのように保育の実践につながっていくのか、具体的に出していくことが課題です。

<法人の基本理念>

子どもは、一人ひとりがあらゆる可能性を持っている宝であり、わが国の将来を担う希望である。
私たちの目指すものは、その子ども一人ひとりにあった豊かな発達を促すことである。

<保育の理念>

『子どもの育ちを支える保育』

<保育目標>

「笑顔で、楽しく元気で健康な子ども」 「ともだちと仲よく遊ぶ子ども」
「感じたり、考えたり、工夫したりして、やりぬく子ども」

<重点目標>

- ①保育の過程を大切に、保育の質を高め合う。
- ②家庭連携と保育のつながりが見える化していく。
- ③子育て活動の支援と地域のつながりをもつ。
- ④こどもの安全、園の防犯、防災対策の充実をはかる。
- ⑤計画の策定、目標、指標を具体化して、実施、評価のサイクルをつくり、研修を活かして、組織づくりをする。

法人として	重点目標	事業計画	事業報告
<p>1. 保育指針に沿った保育の実践 保育指針等を十分に理解し、保育指針に沿った担当業務のあり方を把握したうえで、実践し、振り返りを行う。</p> <p>子どもの権利を守ること、虐待の防止といった子どもの人権についての関心を深める。</p> <p>各担当組織、職員個々が目標を持って行動し、担当組織や自分の担当業務の振り返りを行う。(目標による管理)</p> <p>子どもの安全を守るためにリスクマネージャーを養成し、リスクマネージャーから各職員への教育を徹底する。</p>	<p>①保育の過程を大切に、保育の質を高め合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育目標を意識しての保育の質を高め合う。 ★「子ども理解及び関わりの質」 ・エピソード記述のグループワークを継続させ、保育の過程を大切にしながら、保育実践や子どもの記録の方法を検討する。 ★「環境の質」 ・生活の環境、昨年度の研究を活かし、遊びの環境を考える。 ★「遊びが学びの質」 ・子どもの姿を語り合う。 ・子どもの思いに耳を傾け、子どもの姿を読み取る方法を学び合う。自分でやってみようという意欲と満足感を大切に保育 ★「保護者支援の質」 ・子どもと保育の姿を伝えあう。 ・保護者との関わりを学び、職員共有していく。 ・リスクマネージャーを中心としたリスク研修とヒヤリハットの見直し 	<p>エピソード記述のグループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パート非常勤も一緒に気づきを話し合う。自分で振り返りができた。 ・配慮の必要な子どもについてのケース会議を行う。 <p>10月クラスの間接発表を行う。</p> <p>3月 保護者にむけて発表 自分達のやっていることの見える化 「あそびマップからうまれるわくわく」 「心と心が通い合う触れ合いあそび」 「子どもの発達に応じた環境作り」</p> <p>園内研修で、危険予知トレーニングと保護者対応のロールプレイングの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内ヒヤリ箇所に掲示 ・あそびMAPを作成したり、わくわくの時間を通じて異年齢活動に取り組んだ。
<p>2. 国、市の方針等の環境変化に応じた園の経営</p>		<ul style="list-style-type: none"> ★会議の充実をはかる ・会議研修等で得た情報は職員に啓蒙する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園にむけて湖西市との調整 ・近隣の法人保育園とともに湖西市に状況

<p>国の「子ども・子育て新システム」市の保育政策等への適合をはかる。</p> <p>保育所担当行政をはじめ関係機関との連携を深める。</p> <p>市野与進保育園2016年こども園に移行、岡崎保育園については、引き続き湖西市の方針を確認しながら、こども園の移行していくことを方針とする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議や保護者への説明を計画的に行う。 ★保護者アンケート 課題の検討 見直し ★地域周辺の状況や、定期的に湖西市との連携をはかり情報をもらう。 ★湖西市との情報交換 	<p>を確認するが、定員増の要求。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立2つの幼稚園からのこども園化を市の方針とする。 ・保護者アンケートの実施 利用者の保護者よりこども園のメリットが気になっている様子 ・職員2名幼教免許更新 来年は3名予定
<p>3. 保護者への積極的な子育て支援</p> <p>保護者への支援、保護者との連携を強化する。</p> <p>地域への子育て支援メニューを充実し継続的に行う。</p> <p>保護者も保育に参加し体験することにより、保育園への理解と保育内容の理解を深める。</p>	<p>②家庭連携と保育のつながりを見える化していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★保護者への発信。 ・保護者懇談会でグループ対話 ・お誕生会の茶話会 ・保育参加会 ・行事参加のお手伝い ★父親への働きかけ・・・パパの会の発足 ★気になる子どもの様子について保護者が相談する機会を設ける。 ・個人面談と就学への継続支援 ★びよびよクラブの充実 ・栄養士等の専門的相談を継続的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス写真掲示 ・お誕生会参加 茶話会のグループ話し合いを少人数で実施 相談もできた。 ・個人面談6月9月11月に分けて実施 ・言葉の教室につなげた。 ・保育自由参加月を設ける ・保健師訪問
<p>4. 保育環境の整備</p> <p>財源の確保も含めて計画的に環境の整備を進める。</p> <p>子どもたちの安全と衛生的な環境を確保する。</p> <p>修繕や備品の購入は年次を追って計画的に進める。</p>	<p>③子育て活動の支援と地域のつながりをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★挨拶をみんなで積極的に行う。 ・思いやり保育の環境を整える。 ★地域交流 ・自治会いきいきサロン ・お年寄りとの継続交流 ・お祭など地域行事への鼓隊参加 ・蛍の放流 ・畑体験 ★森の環境整備を行う。 ★2階のベランダの暑さ対策（テラス、日よけ）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光湖苑との定期的交流 ・自治会の行事の参加と招待 ・タマネギ、ジャガイモ掘り ・地域のお祭りに鼓隊参加、来年の希望も多かった ・蛍の放流 ・係中心でベランダの日よけをつける ・園庭の拡張により芝生管理の増幅
<p>5. 働きやすい環境づくり、待遇の改善</p> <p>早期に採用計画を明確にする。</p> <p>法人全体、職員全体で積極的な新規採用活動を実施する。</p> <p>職員の給与改定による待遇改善をすすめる。</p>	<p>④こどもの安全、園の防犯防災対策の充実をはかる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★個人目標をもち、役割を認識しながら研修に参加する。 ★目標管理シートの活用 ・チューター制度を積極的に進めていく。 ★マニュアル、係の仕事の見直し ・防犯防災対策の再確認 ★市野与進保育園との情報交換 ★積極的な新人採用活動 ・新人職員からの情報交換 	<p>目標管理</p> <p>チューターとの面談 リーダー職員、中堅職員、初任者職員、新人職員と役割を明確にした。 具体的に仕事の振り返りができた。</p> <p>新採保育士ができなかった。</p> <p>持ち帰りの仕事、残業等について調査しどうしていくか考えた。</p>
<p>6. 計画的な研修</p> <p>自ら学ぶ姿勢を支援する。</p> <p>倫理性、組織性、専門性をもつ職員の育成を行う。</p> <p>パート職員も含めたOJTの強化、プリセプター方式による新人教育等。</p> <p>新たなキャリアパス研修計画の策定。</p>	<p>⑤計画の策定、目標、指標を具体化して、研修を活かし、組織づくりをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合同就職説明会への参加 ・実習生への働きかけ ★中堅リーダー、研修委員会が中心となり、人材育成。 ★中長期計画の見直し 	<p>合同就職説明会実施 自主実習に繋がらなかった。</p> <p>園内研修の充実 年間を計画して実施する事ができた。</p> <p>中長期の計画見直しが出来なかった。</p> <p>松溪会合同研修 山縣先生 人権問題について</p>

<p>8. 経営の把握と無駄の排除 経営状況を適切に把握し、中期事業計画を策定する。(人員と設備備品の予算根拠の明確化とその実行管理) 管理部門は常に現在の経営状況を把握し、随時職員にも伝える。 適正な経営を確保するために、無駄を排除する。 両園の建物、設備の再生産のための費用の算定とその積立計画を検討する。</p>	<p>★節電 今年の電気料より下げる工夫をする。 ★経営の把握 (収入支出のバランス) しながら購入を考える。</p>	<p>基本料金が下がる。 避難車の購入ができた。 防犯カメラの設置が予算が取れずできなかった。</p>
<p>9. タイムリーな情報発信 HPで随時新しい情報を提供し、保護者や地域社会、保育士就職希望者に情報を開示・発信、交流する。 日頃の実践を保護者に伝える機会を持ち、保護者とともに保育を進める。(保護者向けの発表会やHP上にブログによる情報発信等) 職員の末端に至るまで、必要な情報は、タイムリーに正しく流す。(月次決算、重要決定事項)</p>	<p>★第三者評価を受審後、課題を見つけ問題解決していく。 ★HP委員の充実を図る ・ブログ更新は、クラスでみんなができるようにする。 ・利用者発信</p>	<p>・自己チェックが園評価に役立てるところまで進まなかった。 毎月のブログ更新 クラス写真掲示</p>
<p>10. 環境を守る取り組み 保育の中にも職員の行動にも環境問題を考えた対応をする。 ものを大切に。 動物・植物を大切に。</p>	<p>★環境係を中心に芝生の管理を行う。 ★花壇、畑の管理</p>	<p>園庭の拡張送迎用の駐車場工事完成 ・駐車場20台確保して、送迎時の混雑職員の車の誘導等がなくなった。 ・地域の方よりもらい、チューリップ、ひまわりを植える ・芝生管理</p>
<p>11. 新しい地域貢献活動の実践 保育に関係した地域貢献活動(例えば子どもの貧困対策等)に参加する方策を検討する。 地域内にある福祉ニーズを探り、法人として地域社会に貢献する。</p>	<p>★「パパの会」の発足 ★湖西市地域福祉課等行政との連携</p>	<p>「パパの会」活動 ・砂場の砂いれ 草取り ・びよびよクラブ 地域の親子支援</p>

【職員数】

正規人数 20 (園長1 主任1 保育士16 栄養士1 調理師1)
 非常勤パート 17 (保育士8 調理師2 学童支援員4 事務2 業務1)
 H28新規採用保育士 5名 中途採用保育士 1名 退職非常勤保育士 1名 異動職員 0名 病気休職職員 0名

<事故報告> 受診診察園児11名 小学生2名

- 4月・腕の痛み膝内障疑い(3歳)
- 5月・転倒打撲(2歳)
- 8月・玄関で、双子を抱っこしておんぶしていておんぶ児をおろそうとしたとき、落下頭部打撲(0歳児)
 - ・プール衝突歯が欠ける(5歳児)
 - ・テラス転倒歯のぐらつき(2歳児)
- 11月・ブランコの打撲転倒による擦り傷(※祝日保育、様子をみていて腫れてきたため夜保護者が受診)(1歳児)
 - ・友達の頭部が当り口内出血(1歳)
 - ・左上腕骨折 滑り台に立ち上がり落下(5歳児) 全治1ヶ月のため県に報告事例(別紙) 成長過程であるため現在も通院経過観察中
- 12月・右足脛骨骨折(3歳児) 園庭で走ってきた5歳児とぶつかり転倒
 - ・つまずき転倒 右足の甲骨折(5歳児)
 - ・保育室で走って転倒 床にあごをぶつけ切傷3針縫合(5歳児)

<苦情・意見> HP 苦情用紙 連絡帳 ポスト等、直接の苦情は、ありませんでした。

保護者が個人的に、「これはクレームではない。」と言いながら何度も意見はいただきましたので、保護者対応として対処しています。